

大江地域の現況

- 1 面積 96.81 km² (旧大江町)
 2 人口 4,578人 (平成28年10月末住基)
 うち65歳以上(高齢者比率)=41.52%
 3 世帯数 1,954世帯 (平成28年10月末住基)
 4 地形

京都府北部(福知山市の北部)に位置し、山林が8割を占め、宅地や耕地は由良川やその支流沿いに細長く点在する。

中央を由良川が貫流する。由良川下流部となるが、兩岸に山地や迫り河川勾配もないなか、由良川の氾濫による洪水の被害を繰り返してきた。

また、北側には大江山連峰(最高峰=千丈ヶ嶽832.5m)の山々が連なる。

小さな谷が多く、集落が点在するが孤立する可能性も高い。

- 5 行政区 45自治会

6 交通

- (1) 鉄道 京都丹後鉄道宮福線

管内に5駅(公庄、大江、大江高校前、二俣、大江山口内宮)

大江駅には全特急列車が停車

- (2) 道路

ア 京都縦貫道

最短のI.Cは、舞鶴大江(舞鶴市大俣)

イ 国道 175号線

由良川左岸を通るが、増水時の冠水の確立が高い。また、大型貨物車の通行多。

ウ 府道

- ・舞鶴福知山線・・・国道と対岸となる由良川右岸を通る。
- ・綾部大江宮津線・・・大江山、元伊勢三社など観光アクセス道
- ・山東大江線・・・狭い道路で、橋谷～天座間は離合も困難
- ・私市大江線・・・長田野工業団地への最短ルート
- ・二俣三河線・・・舞鶴大江I.Cから大江山、元伊勢三社への最短ルート
- ・綾部大江線・・・市原地内で行き止まり。現在1.5車線道路整備

エ 市道

2車線に整備された市道は、波美魚屋町線や旧国道程度で、他は狭い道路が多い。

7 保育園・学校

- (1) 保育園

幼稚園なし。1保育園(げん鬼保育園=平成22年1園統合)

- (2) 小学校

3小学校(美河、美鈴、有仁)

昭和48年から52年にかけて7小学校2分校を3校に統合

現在、1校統合について検討がされようとしている。

- (3) 中学校 大江中学校 1 校
- (4) 高校 京都府立大江高等学校

8 旧大江町

六か町村が合併して昭和 26 年 4 月 1 日に発足

(河守町、河守上村、河西村、河東村、有路上村、有路下村)

平成 18 年 1 月、福知山市に合併

9 公民館

旧小学校区ごとの 5 地区公民館（2 地区は休止）と大江地域公民館

10 産 業

鉦山の閉山や養蚕の衰退にかわる農産物が育たず、また商工業も零細なものが多く、特出する産業はない。近隣への通勤による生活確保が主である。

・農業…水稲が主となる。特産物としては、えびいも・堀川ごぼうなどの京野菜やお茶など。

有害鳥獣による被害が急増。特に、猪・鹿・熊。

11 市施設

大江支所、総合会館、北部保健福祉センター、大江駅東側駐車場（職員・駅利用者兼用駐車場とふれあい広場）、地域振興センター（旧商工物産会館、大江駅）、Uターンプラザ（Ⅰ・Ⅱ）、定住促進団地、酒呑童子の里（鬼瓦工房、テニスコート、キャンプ場、バンガロー他）、大雲の里（記念館、塾舎、鬼力亭）、和紙伝承館、元伊勢観光センター

10 病院・診療所

(1) 大江分院（市立福知山市民病院）

昭和 28 年に国民健康保険大江病院として設立されたが、合併前の平成 17 年に公設民営化され医療法人財団新大江病院となる。

平成 27 年 4 月から市立福知山市民病院の分院へ移行した。

病床数 72 床（一般病棟 36、療養病棟 36）、内科・消化器科

(2) 民間 医院 1、歯科医院 2

11 バス

(1) 市営バス

・ 2 路線（二箇下線、大江山の家線）

・ 旧へき地バス 5 路線（週 1 便のみ）

(2) 民間バス 京都交通バス 大江線（西舞鶴駅～大江駅前）

(3) その他市所有バス スクールバス（小学校用）4 台 保育園バス 1 台

12 特別養護老人ホーム

五十鈴荘（社会福祉法人五十鈴会）

13 防災行政無線

支所から各自治会の公会堂へ無線でとばし、公会堂の受信機で受けたものを各自治会の有線放送へ流し、有線を通じて各戸へ伝達する。

14 第三セクター 大江観光(株)

昭和 63 年 7 月の宮福鉄道開業にあわせ設立。開業を起爆剤とした観光振興による町の活性化をめざす。設立当初は大江駅と元伊勢観光センターの受託管理・土産品販売・観光案内が主。平成 7 年に大江山の家を、平成 15 年に大雲の里の管理受託。

15 上水道

(1) 簡易水道

(2) 簡易水道施設（水道未給水地区） 北原地区

16 下水道

公共下水1、農業集落排水4、合併浄化槽区域

(1) 特定環境公共下水道 処理場＝波美

河守地区・河西地区（蓼原、公庄下・上）・河守上地区（内宮、二俣一～三、天田内）

(2) 農業集落排水

- ・河東農集排 処理場＝千原 区域＝千原、尾藤口・奥
- ・北有路農集排 処理場＝北四 区域＝北一～四
- ・三河農集排 処理場＝三河 区域＝三河
- ・有路農集排 処理場＝二箇上 区域＝南一～四、二箇上・下

(3) 合併浄化槽 集合処理区域以外

17 住宅

(1) 府営住宅 宮前団地（天田内） 老朽化が激しいが建替え等の予定はない。

(2) 市営住宅 ・公営住宅…仲町（2戸）、日吉東（5戸）

・特公賃住宅…二俣（12戸）

(3) 定住促進住宅 鬼の里定住促進団地（美鈴新、30戸）

(4) Uターンプラザ（滞在型宿泊研修施設）

UターンⅠ（公庄上、10室、お試し住宅5室）、UターンⅡ（波美、30室）

18 国定公園

丹後天橋立大江山国定公園 平成19年8月3日指定

19 過疎高齢化

人口は、旧大江町発足時から比べると半減という厳しい過疎化が進行している。現在も次世代の定住が減少しており、さらに過疎化が進むものと予想される。

また、高齢化も深刻であり、高齢化比率は41.5%となる。山間部の減少は激しいが、中心部（支所近隣）においても40%を超える地区が出てきている。

こういったことから、集落の存続や日常生活の維持さえ厳しい状況に至っている。

<国調人口の推移>

S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60
11,811	11,103	10,326	9,135	7,490	6,948	6,520	6,315

H2	H7	H12	H17	H22	H27
5,992	5,990	5,705	5,426	4,920	4,426

20 観光スポット

大江山（鬼嶽稻荷神社、ブナ原生林、雲海）、元伊勢三社（内宮、外宮、天岩戸）、二瀬川溪流、毛原の棚田、オノ神の藤、小原田夫婦滝、鬼ヶ城など

21 観光施設

酒呑童子の里、大雲の里、日本の鬼の交流博物館、和紙伝承館など

22 水害

(1) 由良川やその支流の氾濫による度重なる水害（災害救助法適用）

主な災害…台風 13 号(S28)、伊勢湾台風(S34)、台風 20 号(S47)、台風 23 号(H16)、
台風 18 号(S25) など

(2) 由良川治水（大江地域）

ア 河道掘削（低水路掘削、1,000 トン河道）…昭和 38 年度～57 年度

イ あしぎぬりバー構想（21 世紀をめざしたわが町の河川整備構想）…昭和 63 年策定

ウ 由良川地域水防災対策計画（暫定高（30 年確率）の輪中堤と宅地嵩上げ）

…平成 3 年策定、平成 8 年河守築堤着手、引き続き河東築堤

エ 由良川下流部緊急水防災対策（河川整備計画において概ね 30 年の整備計画を 10 年間
での実施）…平成 17 年決定、計画高による整備（輪中堤）＝河守・千原～常津、北有
路・公庄・南有路

宅地嵩上げ…有路下（二箇上下、三河、高津江）、輪中堤計画のない箇所

平成 27 年度事業完了

オ 由良川緊急治水対策（平成 16 年と 25 年の水害で 2 度浸水した区間を対象に河川整備
計画を前倒しし概ね 10 年以内に実施。被害甚大地区は優先的に概ね 5 年間で整備）…
平成 27 年決定…

輪中堤…北有路（阿良須）

宅地嵩上げ…二箇上・下、常津、在田、夏間、日藤

23 大江地域のまちづくり

(1) 水に強いまちづくり

・由良川の氾濫による水害との闘いが大江地域の歴史。由良川治水事業と区画整理事業などのまちづくり事業を一体的に推進してきた

緊急水防災対策による輪中堤が整備される中、由良川やその水辺を活かした新たなまちづくりの展開が求められている。

(2) 鬼伝説のまちづくり

・過疎から脱却と個性ある地域づくりをめざして、地域資源を活用した鬼伝説のイメージ戦略を展開し、大江地域の知名度や高感度をアップすることにより住民の自信や全国的な仲間などヒューマンネットを築き上げ、住民の生活環境を整備して豊かな自然に包まれたまちづくりを推進してきた。

しかしながら、住民への経済効果を図る目的は、達成できていない現状にある。

・大江山酒呑童子祭（S57 開催）、大江山鬼瓦公園（S61 着手）、日本の鬼瓦を保存する会（S63 設立）、大江観光株（S63 設立）、宮福線（S63 開通）、大江山女子駅伝（H1 開催）、大江山鬼伝説一千年祭（H2 開催）、日本鬼師の会（H3 設立）、日本の鬼の交流博物館（H5 オープン）、鬼サミット（H5 開催）、平成の大鬼（H6 完成）、世界鬼学会（H6 設立）、鬼文化江戸東京物語展（H11 開催）



大江山 酒呑童子